

(社団法人)東京都自動車整備振興会 御中

自動車車検についてのアンケート

調査結果報告書

(PART: V)

2001年1月

調査概要

- 調査日時／2000年12月11日～12月15日
- 調査対象／首都圏在住ホワイトカラー100世帯
- 調査方法／質問紙郵送自記式
- 有効回答数／100票

調查票

自動車車検についてのアンケート

このアンケートは、日頃自動車を運転されている方がお答え下さい。

Q1. お宅は、車を所有されていますか。

- ①はい(Q2へ) ②いいえ(質問終了)

Q2. あなたは、ここ1年「車検」を行いましたか。

- ①はい(SQ1へ) ②いいえ(Q3へ)

SQ1. その車検手続きは、次のどこで行いましたか。

- ①ディーラー ②整備工場 ③ユーザー車検 ④ユーザー車検代行 ⑤その他()

SQ2. 前問SQ1で③「ユーザー車検」、④「ユーザー車検代行」とお答えの方、車検前後の定期点検整備はおやりになりましたか。

- ①やった(SQ3へ) ②やらない(Q3へ)

SQ3. 前問SQ2で①「やった」とお答えの方、それはどこですか。

- ①自分自身で ②整備工場で ③ディーラーで ④その他()

Q3. あなたは、「ユーザー車検」「ユーザー車検代行」という事をご存知ですか。

- ①はい(SQ1. 2へ) ②いいえ(SQ2へ)

SQ1. 「ユーザー車検」及び「ユーザー車検代行」で車検を行う場合でも、定期点検整備が必要ですが、あなたはこの事をご存知でしたか。

- ①知っていた ②知らなかった

SQ2. あなたは今後、「ユーザー車検」または「ユーザー車検代行」で車検を行いたいと思いますか。

- ①やりたい ②やりたくない ③どちらとも言えない

Q4. 平成7年7月より、道路運送車両法の一部改正でユーザーの保守管理(点検整備)義務が法律で明記されましたが、あなたは、この事をご存知でしたか。

- ①知っていた ②知らなかった

Q5. 日常の点検整備はどこでしますか。

- ①自分自身で ②整備工場で ③ディーラーで ④やらない ⑤その他()

Q6. 「車検が通った」ということを、あなたはどのように理解していますか。

- ①次の車検時まで安全に故障なく乗れるということ ②次の車検時までには大体安全だということ
③「車検が通った」ということと「車が故障しない」とは無関係である ④分からない

Q7. 「ユーザー車検」及び「ユーザー車検代行」について、どんなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

[]

Q8. 自動車整備工場のイメージについて、どんなことでも結構ですのでご意見をお聞かせ下さい。

[]

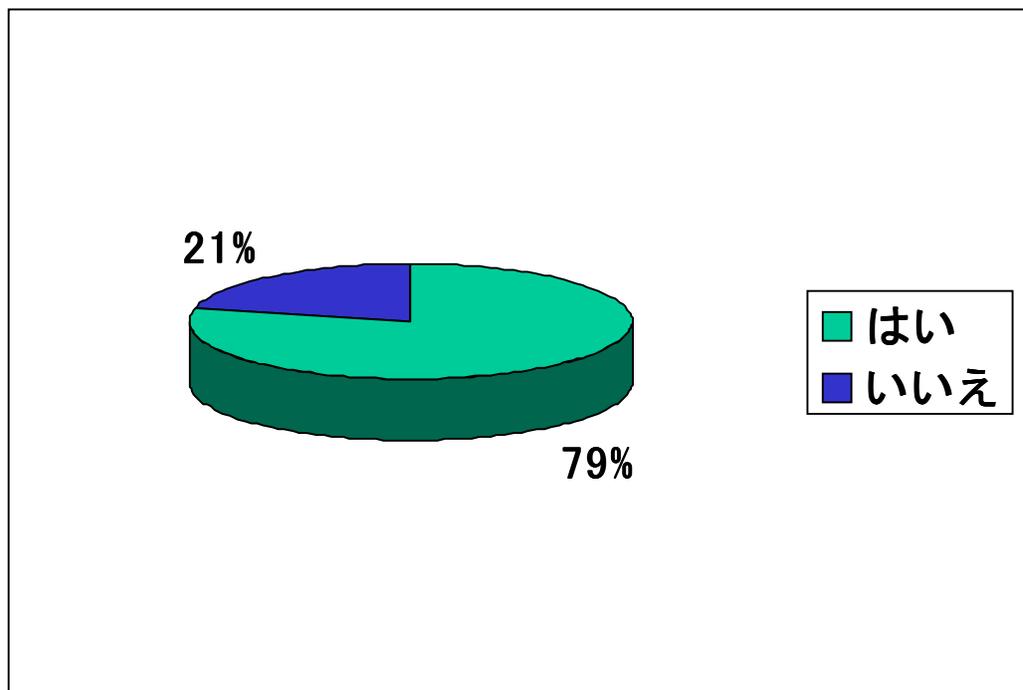
Q9. このアンケートにお答えになった方の性別、年齢をお答え下さい。

- ①男性 ②女性 年齢()歳

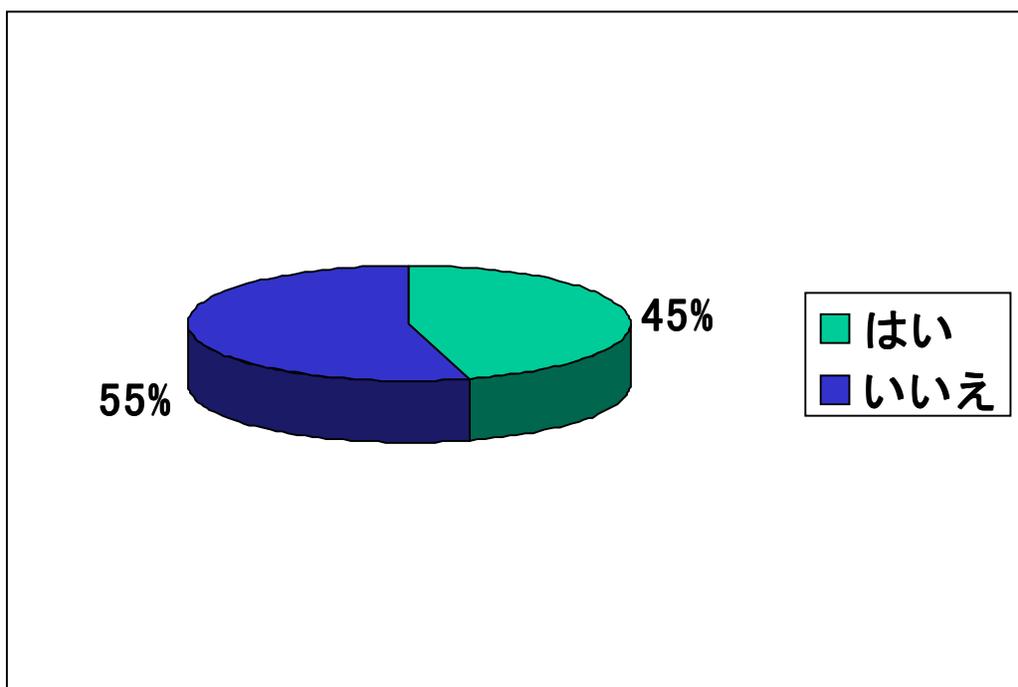
ご協力ありがとうございました。このアンケートは12月18日(月)までにご提出下さい。

調查結果

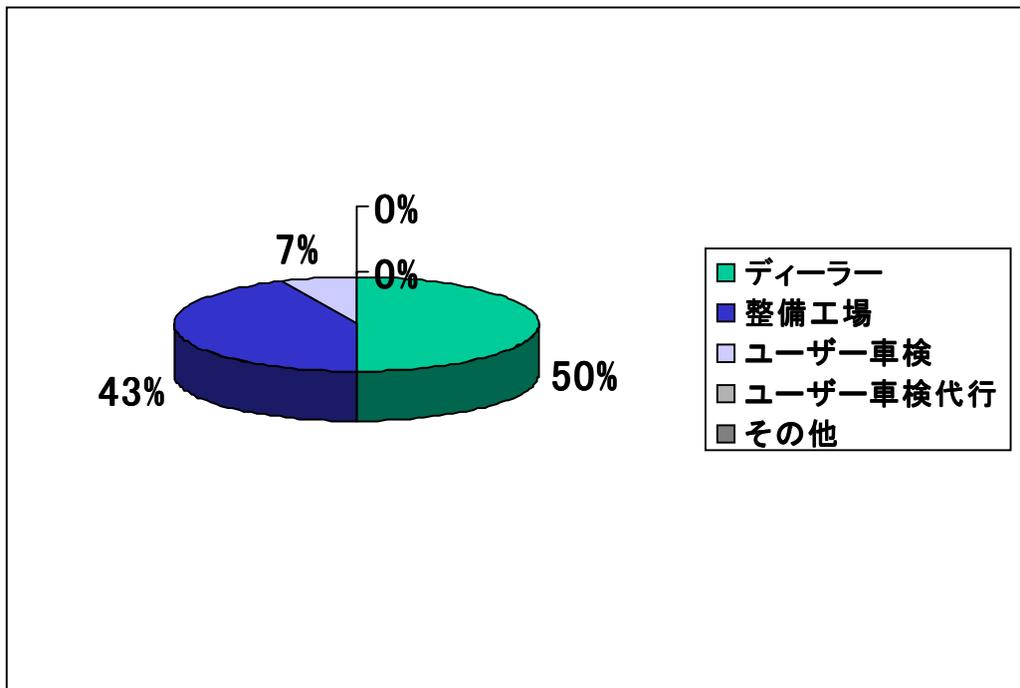
Q 1 . お宅は、車を所有されていますか。



Q 2 . 車を所有されている方のみにお伺いします。
あなたは、ここ1年「車検」を行いましたか。



S Q 1 . その車検手続きは、次のどこで行いましたか。



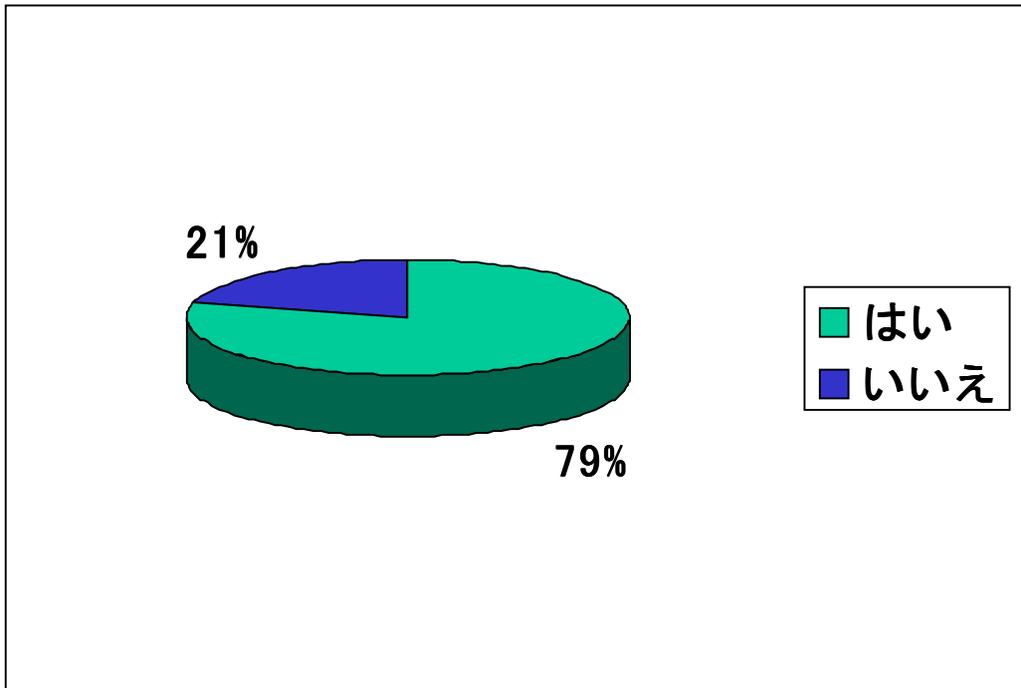
S Q 2 . 前問S Q 1で 「ユーザー車検」、 「ユーザー車検代行」とお答えの方、車検前後の定期点検整備はおやりになりましたか。

①やった	1人	50.0%
②やらない	1人	50.0%

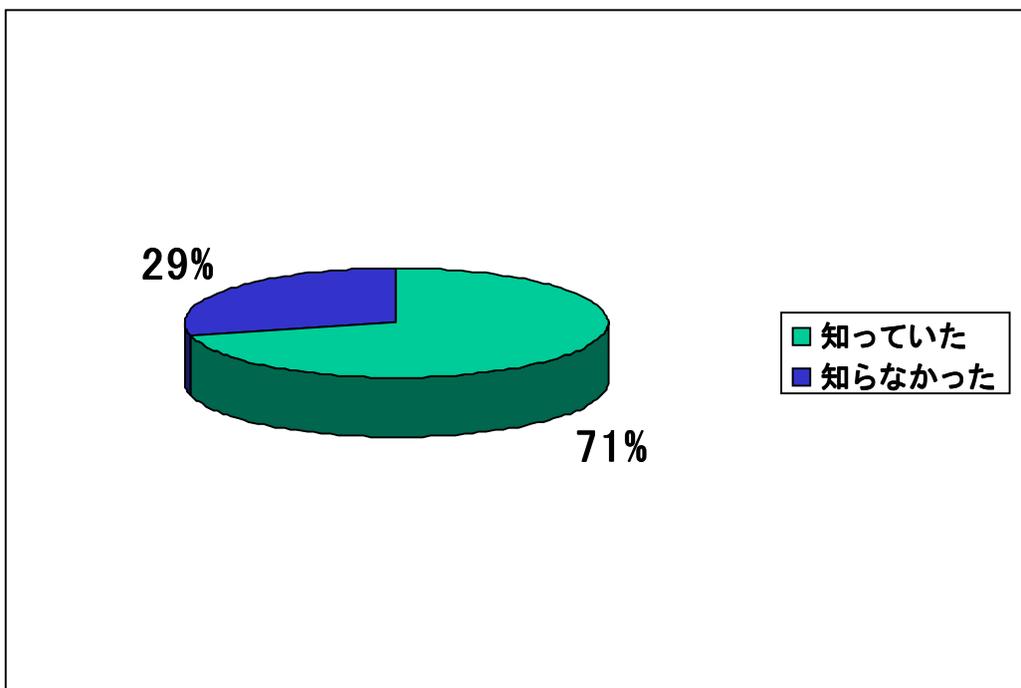
S Q 3 . 前問S Q 2で 「やった」とお答えの方、それはどこですか。

Ans. 整備工場 1人

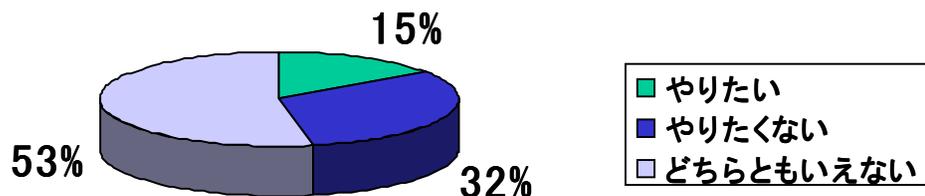
Q3 . あなたは、「ユーザー車検」「ユーザー車検代行」という事をご存知ですか。



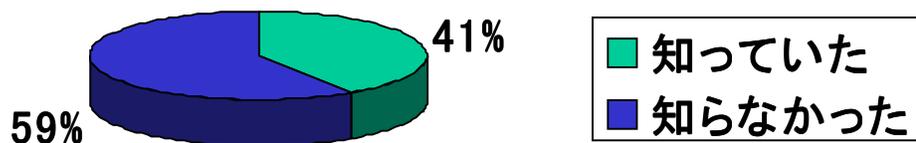
SQ1 . 「ユーザー車検」及び「ユーザー車検代行」で車検を行う場合でも、定期点検整備が必要ですが、あなたは、この事をご存知でしたか。



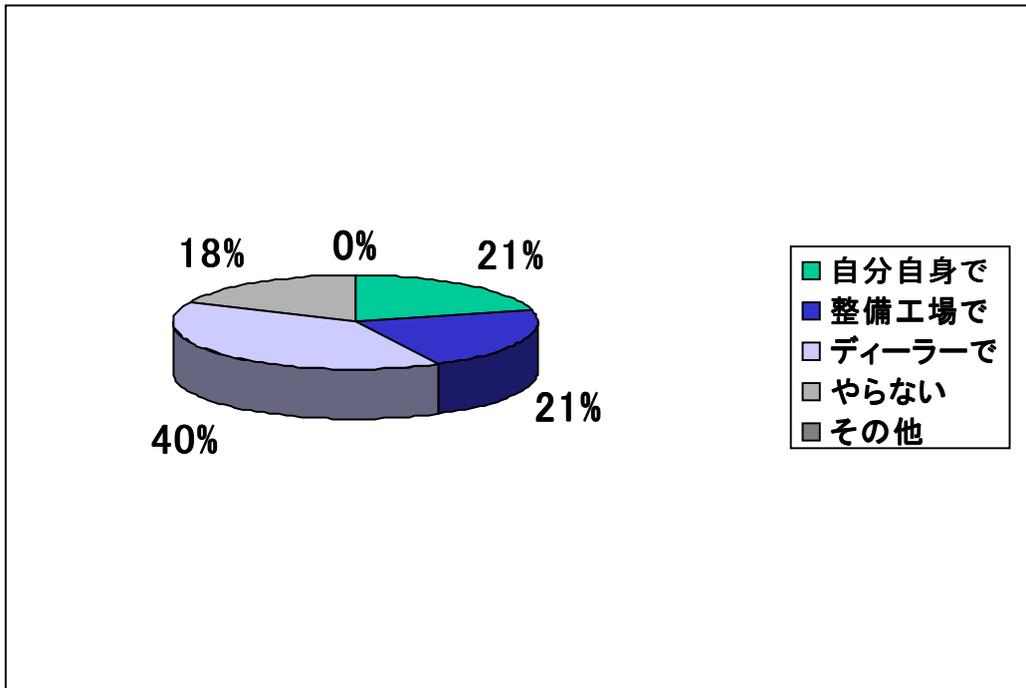
S Q 2 . あなたは今後、「ユーザー車検」または「ユーザー車検代行」で車検を行いたいと思いますか。



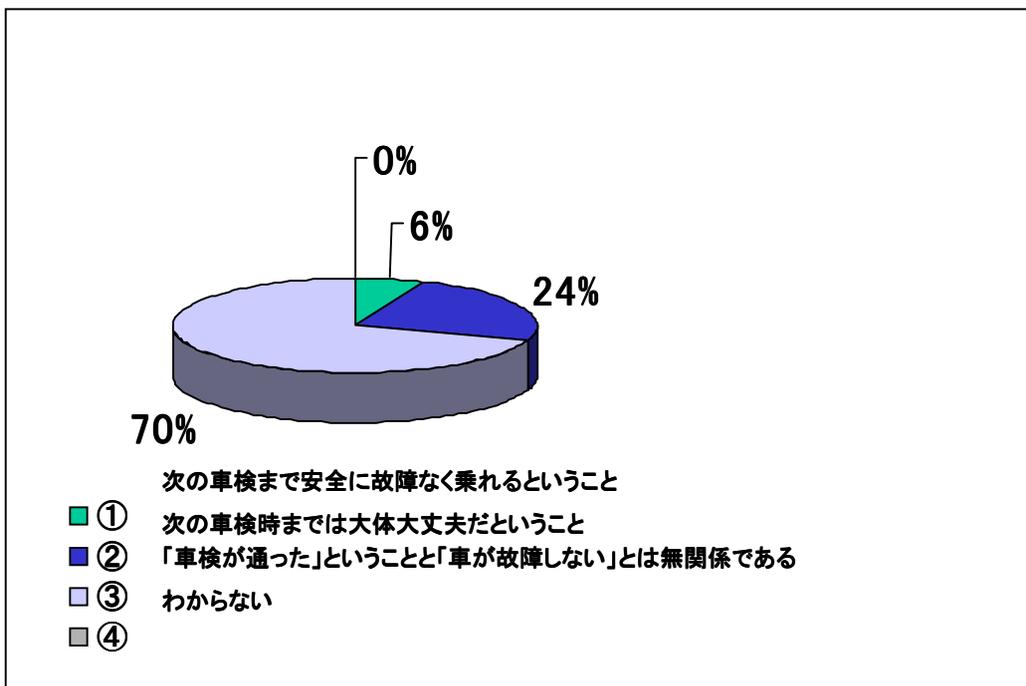
Q 4 . 平成 7 年 7 月より、道路運送車両法の一部改正でユーザーの保守管理（点検整備）義務が法律で明記されましたが、あなたは、この事をご存知でしたか。



Q 5 . 日常の点検整備はどこでしますか。



Q 6 . 「車検が通った」という事を、あなたはどのように理解していますか。



Q7. 「ユーザー車検」及び「ユーザー車検代行」について、どんなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

20代の意見（原文のまま）

- ・料金は魅力的である。
- ・内容が良くわからない。
- ・安全性に不安がある。

30代の意見（原文のまま）

- ・めんどろ、思ったほど安くない。
- ・ユーザー車検は安いイメージがある。
- ・安いようだが、なんとなく心配である。
- ・詳しく知らない。
- ・自分である分、時間と手間がかかる。
- ・安いということはとても魅力的だが、機械オンチで自信がなく、ケチって事故を起こしてもしょうがないので、全ておまかせできるディーラーに頼っている。
- ・初回はユーザー車検も大丈夫だろうと思うが、何年も乗っている車の場合は不安だ。
- ・信用性にかける気がする。
- ・自己管理をしっかりしないといけない。
- ・単に車検代行をしてくれるだけで、点検整備まではしてもらえないという感じです。
- ・細かいところまで点検整備してもらって、安心して乗れるのならディーラーの方が安心感があります。
- ・車検の存在価値が理解できない。なぜ必要なのか？
- ・自動車のことを知るためにはユーザー車検制度はいいことだと思う。
- ・安くて、意外に簡単。
- ・面倒な感じ。
- ・点検整備に不安
- ・魅力は感じるが勉強する余裕がない。

40代の意見（原文のまま）

- ・ただ単に書類上で通すだけのようなイメージがある。
- ・格安で簡単だと経験者というが、自分では面倒なのでやりたくない。
- ・こわれにくい国産車ならやってもよい。
- ・メカに弱いとつらそうですね。
- ・面倒くさい。
- ・年数の浅い、新しい車はユーザー車検で対応できると思う。
- ・今乗っている車の初めての車検をユーザー車検でやりましたが、大変でした。
- ・安くて便利。
- ・費用は安そうだが、自分でやるのは面倒。
- ・信頼性が置けない。
- ・自分で全てを行わなくてはいけない。
- ・安かろう、悪かろうのイメージ
- ・信用できない。
- ・1回車検に落ちるとまた同じ手続きをしなくてはいけないということで面倒くさい。
- ・自分では自信がないのでやっぱり業者におまかせする。
ユーザー車検は安いのでしょうか。
- ・多少高くついても、ディーラーにまかせている。
- ・どこへいったらいいか分からない。
- ・出来るのだったらユーザー車検もよいと思う。
- ・細かい情報を欲しいと思います。
- ・そりなりの知識が必要。
- ・よくわからない。

50代の意見（原文のまま）

- ・時間と料金を考えれば、決して安いとは言えない。
- ・料金は安い整備をしないので、後で高くついた。
- ・面倒くさい
- ・信用が置けない
- ・ディーラーでの車検や整備はやらなくなった。
- ・多少不安がある。
- ・はっきり理解していない。
- ・費用は安いというイメージがあるが、近くに見当たらないので連絡先がわからないし、身近に感じられない。
- ・特徴やメリットがわからない。
- ・過去にユーザー車検の経験あり。車そのものに特に問題は発生しなかったが、自分でその場所まで行くのが面倒だった。チェック項目にも不安がある。

Q 8 . 自動車整備工場のイメージについて、どんなことでも結構ですので、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

20代の意見（原文のまま）

- ・油っばい。
- ・つなぎを着ている。
- ・困った時に頼りになる。
- ・割と好感を持っている。
- ・清潔感が感じられない。
- ・気難しくて怖い。
- ・ディーラーよりも断然安い。

30代の意見（原文のまま）

- ・身近、気軽、親切。
- ・ディーラーと比べるとイメージが悪い。
- ・それぞれのメーカーの部品が揃っているのか心配。
- ・近所にあるのかさえ、情報が行き渡っていない。
- ・チラシだけではよくわからない。
- ・頑固なオヤジさんがやっていて融通が利かない。
- ・高い料金を吹っかけられそうで不安だ。
- ・きちんと整備してくれる。
- ・表面上だけ整備して責任感がないような気がします。
- ・暗い、ヤンキーっばい。ぼったくられそう。
- ・安心。
- ・おっかさんとヤンキーのニイちゃんが働く。
- ・アタリ、ハズレが大きい。
- ・料金が高い。
- ・高いというのと時間もかかる。
- ・ディーラーより安そう。（店による）
- ・玉石混合。
- ・車好きな人だけが仲良くなれる。
- ・なんとなく入りにくい。

40代の意見（原文のまま）

- ・ディーラーと比較して安い、信頼性に欠ける気がする。
- ・ディーラーより安いし、親切である
- ・国産車オンリーというイメージ。
- ・整備の職人（プロ）というイメージ。
- ・不安要素のある車や年数のたった車は整備工場に出した方が安心できる。
- ・ディーラーよりは安心できる。
- ・とっつきにくい。
- ・親しみにくい。
- ・よく整備してくれるのでよい。
- ・きたない。雑。
- ・プロ。安心、信頼。
- ・板金、塗装、地元密着型。
- ・適当に整備しているイメージがある。
- ・家の近くにあるので利用してます。イメージは悪くありません。
- ・古いイメージです。
- ・暗い。
- ・油まみれ。
- ・工場によるが、任せて安心。
- ・親しみやすい。
- ・意外に親切。
- ・便利。
- ・料金が不明瞭。
- ・はじめはとっつきにくい、仲良くなると親切で便利。

50代の意見（原文のまま）

- ・町工場のイメージ
- ・信頼できる整備士のいる工場を見つけるのが大切。
- ・割ときちんと整備するのではないかというイメージ。
- ・整備士の個々の能力が整備に反映する（人次第）。
- ・気軽に頼める。
- ・部品代が高い。
- ・点検はキッチリ遂行する。
- ・信頼のおける整備工場が近くにあれば相談したい。
- ・色々な相談に乗ってくれる。
- ・料金交渉にも応じてくれる。
- ・料金体系がわかりづらい。

クロス集計編

[A表] 「ユーザー車検」「同代行」の認知（Q3）年代別クロス集計

年代	知っている	知らない
20代	100%	0%
30代	81%	19%
40代	74%	26%
50代	89%	11%
全体	79%	21%

[B表] 「ユーザー車検」「同代行」実施意向（Q3のSQ2）と年代別クロス集計

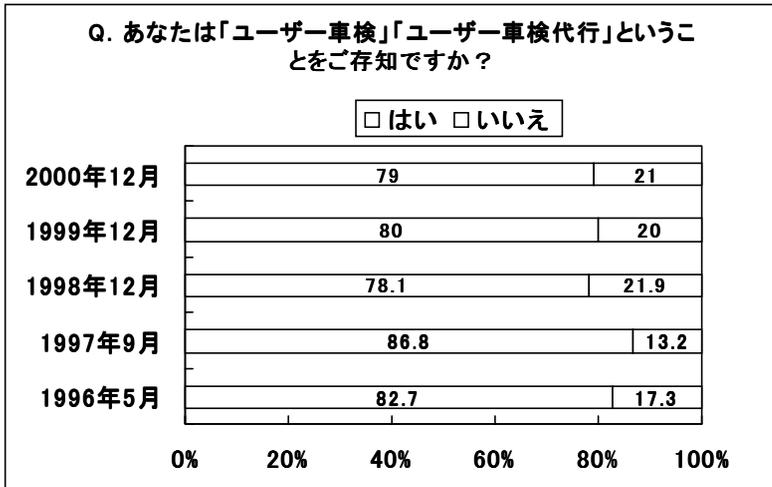
年代	やりたい	やりたくない	どちらとも言えない
20代	0%	50%	50%
30代	7%	27%	66%
40代	10%	41%	49%
50代	16%	21%	63%
全体	15%	32%	53%

[C表] ユーザーの保守管理義務の認知 (Q 4) と「ユーザー車検・同代行」の実施意向 (Q 3 の S Q 2) のクロス集計

		ユーザーの保守管理義務を	
ユーザー車検意向	知っていた(41%)	知らなかった(59%)	
やりたい	43%	57%	
やりたくない	57%	43%	
どちらとも言えない	29%	71%	

1.調査データの時系列推移

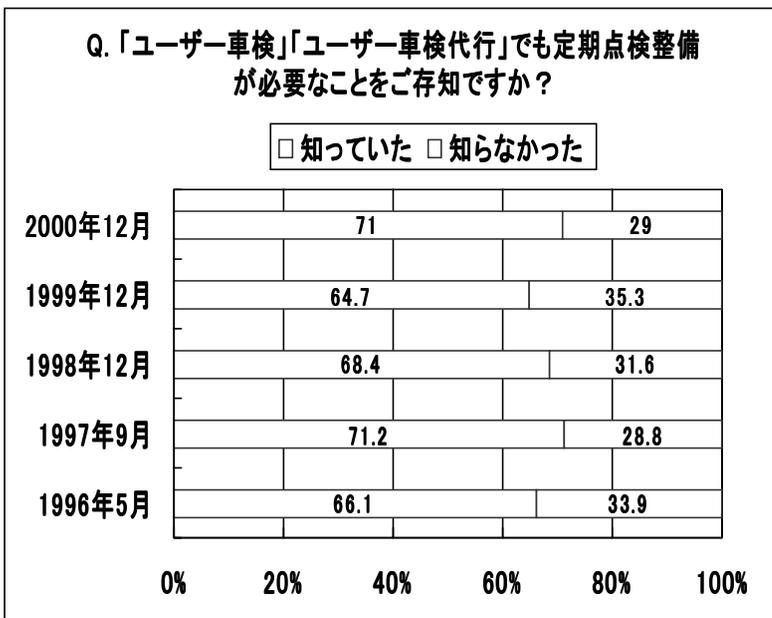
① 「ユーザー車検」の認知率に大きな変化はありません。



98年以降、99年、2000年（平成12年）とも「ユーザー車検」認知率は、ほぼ8割のラインにとどまっています。

一時期高まった「ユーザー車検」への関心も（97年には認知率は87%にもなりました）、法改正後5年以上を経過して、認知率は8割程度に落ち着いたと考えられます。

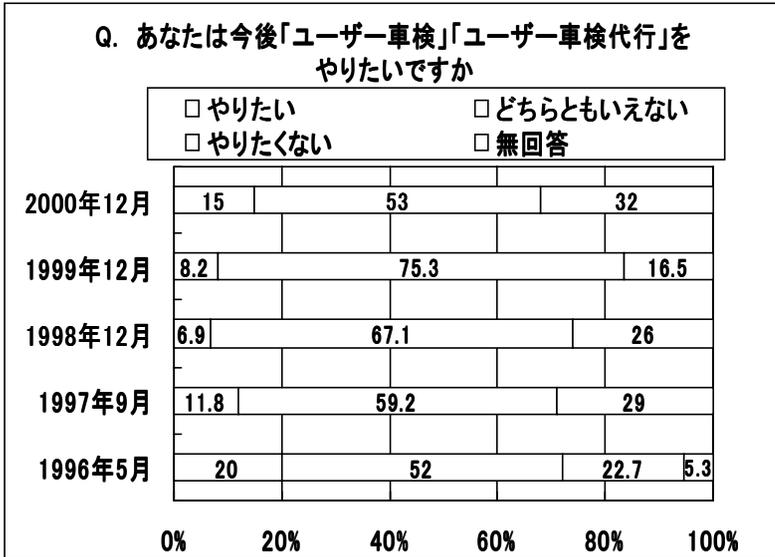
② 「定期点検整備」の必要性の認知は高まっています。



98年12月には68.4%、99年の調査では64.7%と2年連続で低下していた認知率は2000年の調査では、過去最高であった97年調査時の71.2%にせまる71%を記録しました。

このことは、最近の個々人の安全意識への関心を示すものと言えます。個人の安全は、個人が守る努力をするという考え方が浸透し始めています。

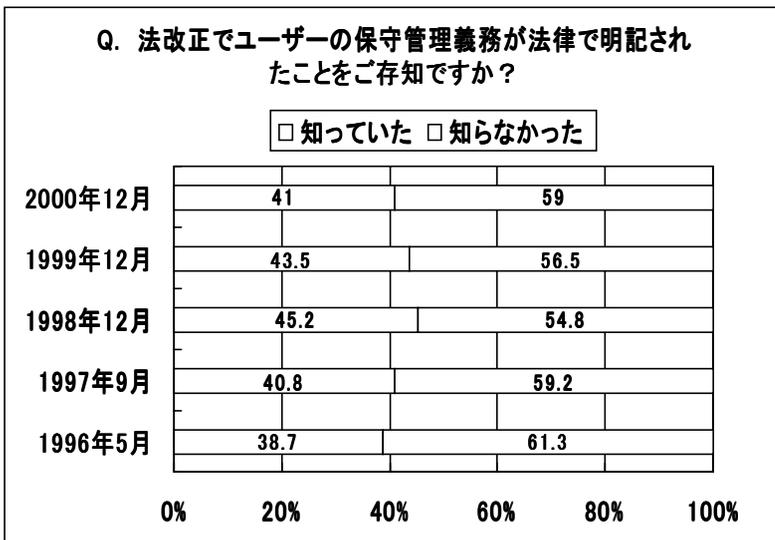
③ 「ユーザー車検」「ユーザー車検代行」に対して
否定派が増加しています。



ユーザー車検および代行での「やりたくない」否定派は32%とほぼ倍になっています。

このことは今まで態度を保留していた「どちらともいえない」層が、この5年間の間に自分自身で「ユーザー車検」を体験し、または身近の人間の体験談などから、「ユーザー車検」の現実を理解し、それほどメリットのあるものではないと認識したことが考えられます。

④ ユーザーの保守管理義務の法律での明記の認知は
横ばい状態です。



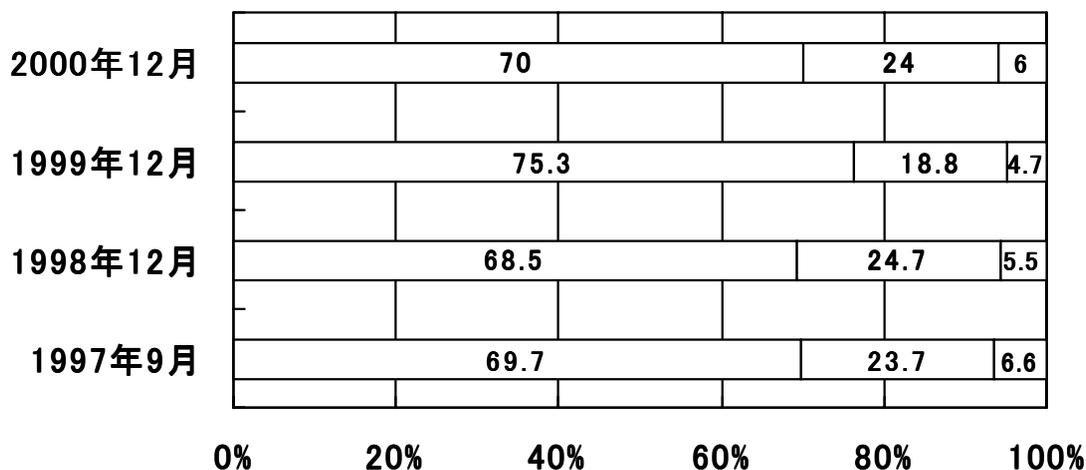
96年から98年の調査まで上昇してきたユーザーの保守管理義務への認知は、99年、2000年と連続して下降しています。

認知率はかろうじて4割代にとどまっていますが、いまのままでは、関心が薄れていく可能性があります。

⑤ 「車検が通った」事と「車が故障しない」事は無関係であるという認知は7割台です。

Q. [車検が通った]という事を、あなたはどのように理解していますか？

- 「車検が通った」事と「車が故障しない」事とは無関係である
- 次の車検までは大体安全である
- 次の車検時まで安全に故障なく乗れる

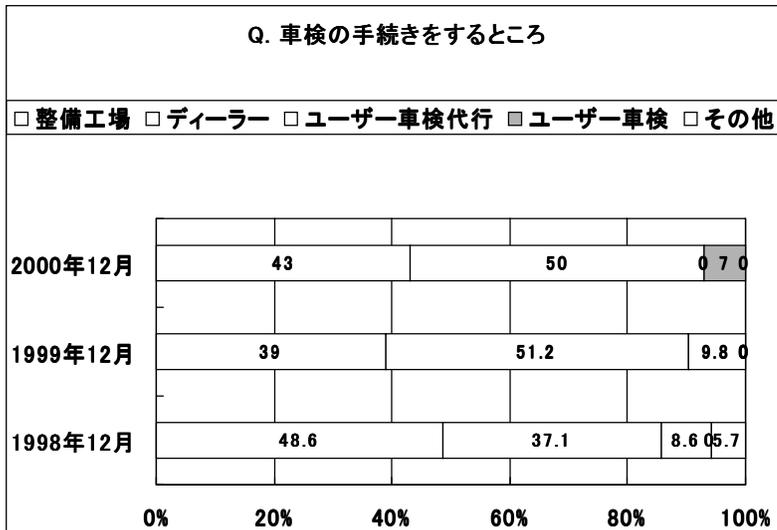


「車検が通った」事と「車が故障しない」事とは無関係であるという認知は2000年の調査では70%と、前年に比べて下降しています。

このことは、法改正後5年を経て車検そのものに対する意識、関心が低下しはじめていることの現れであり、車検と車の安全に対する再啓蒙活動が必要と考えられます。

2. その他の調査データ

★ ユーザー車検は7%、代行は0%、整備工場への依頼が増加しています。

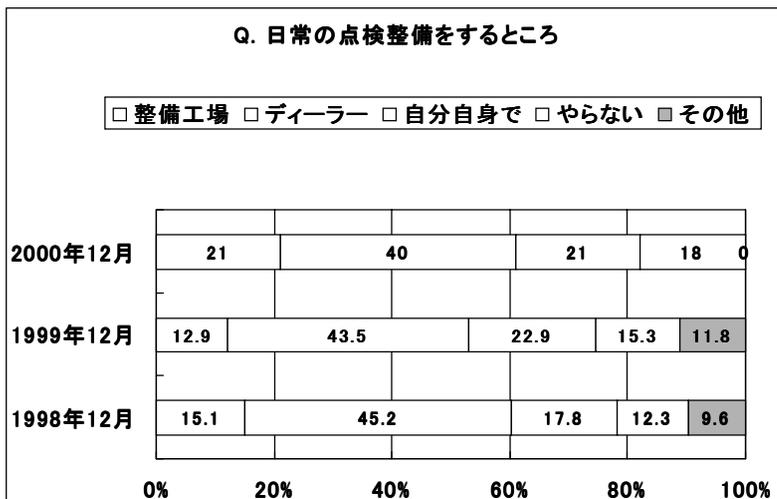


車検の手続きは整備工場が43%と増加しており、ディーラーに任せるの50%と合わせると90%を越えています。

一方で「ユーザー車検」「ユーザー車検代行」は減少する傾向にあります。

「ユーザー車検」に対する否定派が増加し、整備工場・ディーラーでの車検の信頼が増加しています。

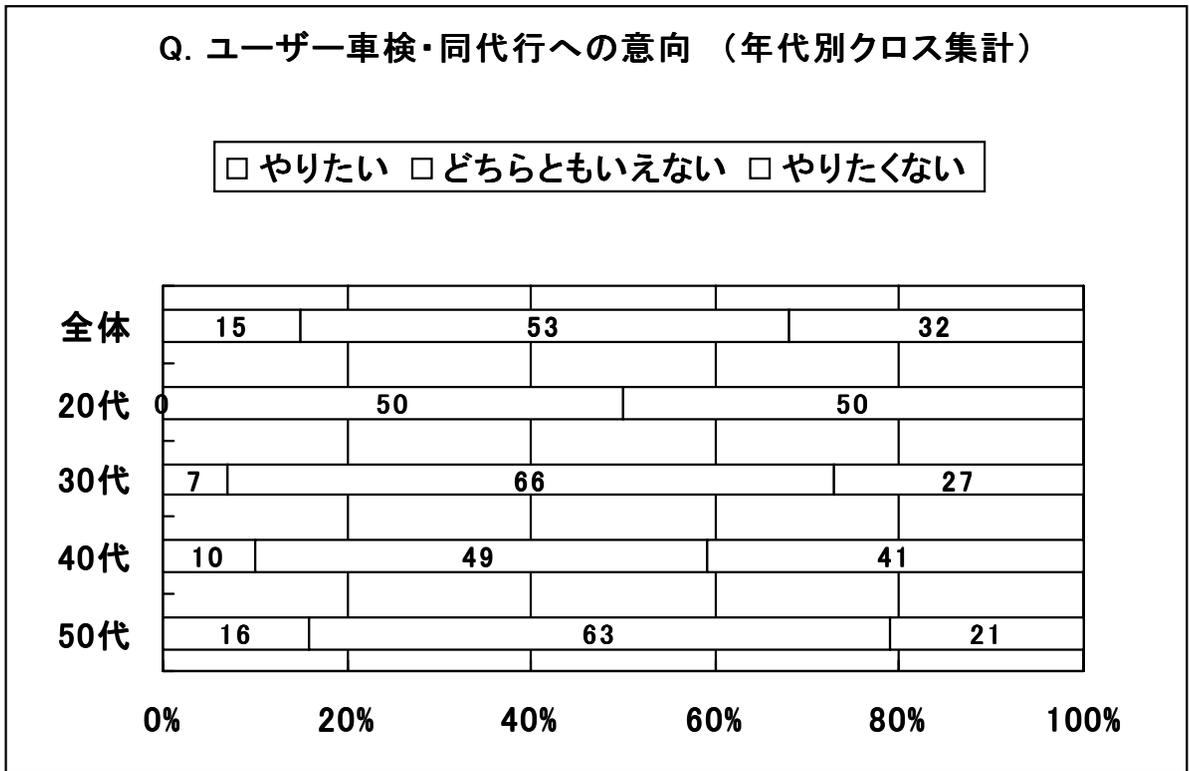
★ 日常の整備点検は「整備工場」や「ディーラー」で行う整備積極派が増加しています。



日常の整備点検を「整備工場で」が21%と大幅に増加しています。「自分自身で」「やらない」消極派は2000年の調査ででは減少しています。

また、整備工場とディーラーを合わせると、全体の6割を占め、きちんとした点検整備を求める傾向にあります。

★ 年齢が上がるほど、ユーザー車検・同代行への関心は強くなっています



ユーザー車検・同代行での車検手続き意向者は20代では0%、30代では7%ですが、40代では10%、50代では16%であり、前年度の調査とは逆の結果が出ています。年齢が上がるほどユーザー車検・同代行には積極的になりつつあります。

若年層では、この5年間の間に実際にユーザー車検・同代行を行い、その利点、欠点を考慮して否定的な判断を下した可能性があります。

3. 調査データのまとめと課題

調査結果

- ユーザー車検・同代行の認知率は約8割、非認知率は2割
- ユーザー車検・同代行の実施率は減少
- ユーザー車検・同代行での肯定派(やりたい)、否定派(やりたくない)」がともに増加しており、態度を鮮明にし始めた。



ユーザー車検・同代行を選択する人としない人がはっきりと別れ始めており、選択する人は全体では減少傾向にある。

- 定期点検整備の必要性の認知は71%まで上昇
- 自己管理責任の認知は依然として半数以下



安全意識は高まっているが、責任意識は依然として低い。

- 「整備工場へ車検依頼」が43%を越えている。
- 「整備工場での日常点検整備」が増加している。



整備工場に対する信頼度が増加している。



課題

- ユーザー車検・同代行への態度保留層へのより一層のアピール
- 安全のための点検整備の必要性の啓蒙
- 整備工場の信頼度の保持とより一層の訴求